

平成22年10月分電力需給状況

需要の概要

平成22年10月の販売電力量は、22億6千万kWh時、前年比 102.8%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、9月上中旬の気温が前年に比べ高めに推移し、冷房需要が増加したことなどから、前年比 103.5%となった。

電灯等の低圧需要の10月分検針期間は、前月(9月)の検針日～当月(10月)の検針日の前日までの1か月間であるため、9月における高気温の影響の一部は、10月に反映される。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、前年比 102.6%となった。

産業用の「大口電力」は、機械や鉄鋼が前年を上回ったことなどから、前年比 104.0%となった。

需要実績

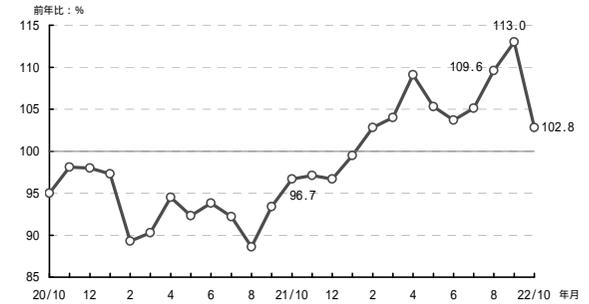
		(百万kWh時、%)	
		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	716	103.5
	電 力	148	101.7
	計	864	103.2
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	498	102.6
	産業用電力	898	102.6
	うち大口電力	(711)	(104.0)
	計	1,396	102.6
販売電力量 計		2,260	102.8
融 通		389	97.4

注：特定規模需要は、特別高圧電力および高圧電力の合計

大口電力の主な産業別内訳

		(百万kWh時、%)		
電力量		前年比		
		22/10月	22/9月	22/8月
織 維	38	92.4	119.3	128.9
紙・パルプ	125	100.5	96.1	101.9
化 学	108	96.9	99.4	104.6
鉄 鋼	84	105.1	108.9	122.2
機 械	158	114.9	115.8	118.1
そ の 他	198	104.5	111.2	111.5
合 計	711	104.0	107.7	111.9

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



(参考2) 4県都平均気温

	()							
	22/9月				22/10月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	29.3	26.7	23.2	26.4	21.6	20.8	17.8	20.0
平年差	3.7	2.8	1.3	2.6	1.4	2.2	1.4	1.7
前年差	3.0	3.7	1.1	1.8	0.7	2.0	0.0	0.9

供給の概要

- 原子力は、定期検査の影響により、前年比 72.3%となった。
- 水力は、前年の湯水の影響により、前年比 138.2%となった。
- 火力は、原子力の減少、需要の増加などにより、前年比 132.4%となった。

供給実績

		(百万kWh時、%)		
		電力量	前年比	備 考
原子力	(39)	1,096	72.3	出水率 80.3%
水 力	(8)	231	138.2	
火 力	(52)	1,481	132.4	
新工ネ	(1)	31	136.0	
発受電計	(100)	2,838	100.5	
その他		16		(21年10月出水率 60.1%)
供 給 計		2,823	100.1	

注1. 新工ネには西条バイオマス(0.5百万kWh時)を含む 注2.()内は構成比

注3. 四捨五入の関係で、合計が合わないことがある

(参考3) 各県別の需要状況

		(百万kWh時、%)						
		徳 島	高 知	愛 媛	香 川			
販売電力量計	(101.6)	509	(105.9)	374	(101.7)	786	(103.5)	591

注.()内は前年比